

PEP 卓越大学院プログラム生 募集要項
9 期生（2026 年 4 月進入／編入） 選抜試験

本プログラムの概要

本「パワー・エネルギー・プロフェッショナル(PEP)育成プログラム」は、13 連携大学（早稲田大学、北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学）による 5 年一貫の博士人材育成プログラムである。

プログラム生は自らの所属する大学の研究科・専攻（以下、「本属専攻」という）の履修・修了に加え、本プログラム修了要件（TD1 から TD5 までの 5 年間で 45 単位、TD3 編入者は 3 年間で 15 単位修得、各種審査合格）を満たすことにより「PEP 卓越大学院プログラム修了証」が授与される。本プログラム授業科目は、卓越必修科目（9 科目 10 単位）が早稲田大学に設置され、それ以外の卓越専門選択科目等は本属専攻に設置される。早稲田大学に設置される卓越必修科目の履修にあたっては、オンデマンド形式、集中授業形式、学外連携先実習の形態で実施し、12 連携大学学生にも配慮した設計となっている。なお、本プログラム修了は、本属専攻の履修・修了が大前提となるため、履修・修了について、本属専攻の要件等を必ず確認すること。

★応募に際しては、「理工学府 WEB サイト＞教育＞卓越大学院プログラム＞3. PEP プログラムのカリキュラム」より事前に『PEP プログラム要項』を確認すること。（<https://www.fse.ynu.ac.jp/education/pep/index.html>）

◆募集区分（SE 区分） **今回の募集は SE 区分②④⑤⑥⑨⑪のみ実施します。**

番号	＜SE区分＞ ※『4月』『9月』はプログラムへの進入／編入時期を指す ※『TD○』はプログラム学年を指す	＜対象＞ ※『4月入学』『10月入学』は本学に入学した時期を指す ※『入学予定者』『○年』はプログラム出願時の状態を指す	実施 時期
①	4月TD1進入	修士課程入学予定者（4月入学）	夏
②	4月TD1進入	修士課程入学予定者（4月入学）	冬
③	9月TD1編入	修士課程1年（4月入学）	夏
④	4月TD2編入	修士課程1年（4月入学）	冬
⑤	4月TD3編入（社会人枠）	博士後期課程入学予定者（4月入学）	冬
⑥	4月TD3編入	博士後期課程入学予定者（4月入学）	冬
⑦	9月TD2編入	修士課程2年（4月入学）	夏
⑧	9月TD1進入	修士課程入学予定者（10月入学）	夏
⑨	4月TD1編入	修士課程1年（10月入学）	冬
⑩	9月TD2編入	修士課程1年（10月入学）	夏
⑪	4月TD2編入	修士課程2年（10月入学）	冬
⑫	9月TD3編入（社会人枠）	博士後期課程入学予定者（10月入学）	夏
⑬	9月TD3編入	博士後期課程入学予定者（10月入学）	夏

*本学では実施区分番号①⑧⑫⑬での募集なし。実施区分番号③⑦⑩は夏（6 月）実施予定。

*本プログラム生の学年は TD1～TD5 と表記し、TD1 が博士課程前期 1 年、TD3 が博士課程後期 1 年に相当。

1. 出願資格

プログラム参加時の学年によって募集区分（SE 区分）が異なるため、まずは自身がどの募集区分に該当するか上表にて確認すること。その上で、「◆横浜国立大学学生共通」および出願する SE 区分番号の出願資格を満たすこと。

◆横浜国立大学学生共通

- ・理工学府 化学・生命系理工学専攻（エネルギーマテリアル系分野を対象）
- ・理工学府 数物・電子情報系理工学専攻（電力系分野を対象）

◆SE 区分番号：② 以下の(1)、(2)の両方を満たすこと。

(1) 出願時において、13 連携大学の所定の研究科・専攻の修士課程の入学試験(2026 年 4 月)に出願し、合格が決定した者

(2) 修士課程修了後の博士後期課程進学を強く希望し、本プログラム修了の強い意志がある者

◆SE 区分番号：④ 以下の(1)、(2)の両方を満たすこと。

(1) 出願時において、所属する大学の研究科・専攻の正規学生で、修士課程 1 年(4 月入学)在学中の者

(2) 博士後期課程への進学を強く希望し、本プログラム修了の強い意志がある者

◆SE 区分番号：⑤ 以下の(1)～(5)のすべてを満たすこと。

(1) 出願時において、13 連携大学の所定の研究科・専攻の博士後期課程の入学試験(2026 年 4 月)に出願し、合格した者および合格が決定した場合、当該専攻に入学の意思がある者

(2) 電力系・エネルギーマテリアル系の分野に関する学位（修士）を取得していること

(3) 電力系・エネルギーマテリアル系の分野に関する就業経験が原則 3 年以上あること

(4) 出願時において、国内外の大学院にて、本プログラムにおける卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目に相当する科目を 15 単位以上修得していること

(5) 本プログラム編入後、3 年間でプログラム修了の強い意志がある者

※(2) (4)にかかわらず、所定の専攻において、個別の入学審査により、修士または修士(専門職)もしくは法務博士(専門職)の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者は、(1) (3) (5)を満たせば出願資格を有するものとする。

※卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目は、『PEP プログラム要項』より確認すること。

◆SE 区分番号：⑥ 以下の(1)～(5)のすべてを満たすこと。

(1) 出願時において、13 連携大学所定の研究科・専攻の博士後期課程の入学試験(2026 年 4 月)に出願し、合格した者および合格が決定した場合、当該専攻に入学の意思がある者

(2) 国内外の大学院において電力系・エネルギーマテリアル系の分野に関する学位（修士）を取得（見込含む）していること

(3) 電力系・エネルギーマテリアル系の分野に関する学術論文（投稿中含む）が 1 報以上あること

(4) 出願時において、国内外の大学院にて、本プログラムにおける卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目に相当する科目を 20 単位以上修得していること

(5) 本プログラム編入後、3 年間でプログラム修了の強い意志がある者

※卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目については、『PEP プログラム要項』より確認すること。

◆SE 区分番号：⑨ 以下の(1)、(2)の両方を満たすこと。

(1) 出願時において、所属する大学の研究科・専攻の正規学生で、修士課程 1 年(10 月入学)

(2) 博士後期課程への進学を強く希望し、本プログラム修了の強い意志がある者

◆SE 区分番号：⑪ 以下の(1)～(3)のすべてを満たすこと。

(1) 出願時において、所属する大学の研究科・専攻の正規学生で、修士課程 2 年(10 月入学)

(2) 修士課程 2 年次において各専攻所定の卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目 20 単位以上取得（履修中含む）している者

(3) 博士後期課程への受験を決定していて、本プログラム修了の強い意志がある者

※卓越専門選択科目、卓越俯瞰選択科目については、プログラム要項より確認すること。

2. 募集人員 若干名

3. 出願期間 2025 年 12 月 18 日 (木) ～ 2026 年 1 月 7 日 (水)

4. 出願書類

各 SE 区分番号において、○印のついた書類が必要。

書類名	指定書式	SE 区分番号												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
志願票 [Excel/PDF]	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
修士論文研究計画書 [Word/PDF]	有	○	○	○	○			○	○	○	○	○		
修士論文概要書 [Word/PDF]	有					○	○						○	○
進入経緯書 [Word/PDF]	有			○	○		○	○		○	○	○		○
受入指導教員／現指導教員からの推薦書※ ¹	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2023 年度秋学期までの成績証明書	-	○		○				○	○		○			
2024 年度春学期までの成績証明書	-		○		○					○		○		
博士前期課程（修士課程）成績証明書	-					○	○						○	○
出願資格証明書類※ ² (大学の在学学生／修了生は提出不要)	-						○							○

※¹SE 区分⑤は所属機関上長からの推薦書も可。

※²SE 区分⑥における「出願資格(4)」を証明するための書類（A～C すべて）

A：成績証明書に記載されている各科目のシラバス（日本語または英語に訳したもの）

B：単位取得した各科目の総時間数の根拠となるもの（大学ウェブサイトやシラバス上の文言等）

C：成績証明書に記載されている成績評価区分について説明されたもの

（例：「100-90：A+、89-80：A+…」 「A+～C が合格、それ以下は不合格」等）

※指定様式は理工学府 Web サイト（<https://www.fse.ynu.ac.jp/education/pep/index.html>）よりダウンロードすること。

※PEP 進入・編入後、指導教員は PEP の主指導教員の役割を担うことが必要となる。出願に際しては事前に指導教員にこの旨の内諾を得た上で、志願票に署名・押印・確認チェックを得ること。なお、区分②においては、入学後の指導教員の内諾が必要となる。

5. 提出方法

以下の(1)、(2)いずれかの方法で提出すること。

(1) 窓口受付：理工学府係窓口へ持参。（平日 9：00～12：45、13：45～17：00）

(2) 郵送受付：2026 年 1 月 7 日（水）必着で下記宛先へ簡易書留による郵送。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 横浜国立大学理工学系教務課理工学府係

※封筒に「PEP 卓越大学院プログラム願書在中」と朱書きすること。

6. 選抜方法・選抜スケジュール

選抜は次のスケジュールに従い、書類選考と口述試験にて実施される。

- ・書類選考：出願書類により選考を行い、書類選考通過者に口述試験の集合場所・集合日時ならびにプレゼンテーション資料作成について通知する。
- ・口述試験日程：2026 年 1 月 23 日（金）～2026 年 1 月 30 日（金）の間で、各専門分野が指定する日時
- ・口述試験形式：対面もしくはオンライン
- ・口述試験内容：これまでの研究内容、志願動機、本プログラム進入／編入後に取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーションと質疑応答。
- ・結果発表：2026 年 2 月中旬
- ・進入／編入手続：2026 年 2 月下旬

7. プログラム履修期間

本プログラムに係る科目履修期間について、卓越必修科目は 2026 年 4 月から TD5 終了時までとする。卓越専門選択科目・卓越俯瞰選択科目は、本学在籍期間のうち、TD5 終了時までとする。

8. 卓越 RA 費

- ・本プログラム生は連携機関や企業等との共同研究等に参画することにより、研究代表者である指導教員等から卓越 RA 費（修士 8 万円/月額、博士 12 万円/月額）を受給することができる。受給開始可能時期は 2026 年 4 月 1 日となる。ただし、社会人枠学生や安定的収入のある学生、休学中の学生、プログラム延長生は対象外となる。
- ・本プログラム生は、博士課程前期の 2 年次に①JSPS 特別研究員（DC1）、②YNU-SPRING（または YNU-BOOST）、③理工学府特別研究員／特待生制度のすべてに必ず応募すること。

①JSPS 特別研究員（DC1）への応募について

②YNU-SPRING もしくは③理工学府特別研究員／特待生に採用された学生は、JSPS 特別研究員への応募が義務付けられている。

②YNU-SPRING（または YNU-BOOST）の詳細は、教育推進機構の WEB サイトの該当ページ

(https://ope.ynu.ac.jp/learning_plus/doctor_support.html) より確認すること。

ただし、日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている者が、YNU-SPRING（または YNU-BOOST）による支援を受ける場合、「特に優れた業績による奨学金返還免除制度」における返還免除認定の対象外となる。

③理工学府特別研究員／特待生制度の詳細は、理工学府 WEB サイトの該当ページ

(<https://www.fse.ynu.ac.jp/exam/fellowship.html>) より確認すること。

- ・本プログラム生は、博士課程後期の 1 年次において、JSPS 特別研究員、YNU-SPRING（または YNU-BOOST）、理工学府特別研究員／特待生制度の何れにも採用されていない場合、①JSPS 特別研究員（DC2）、②YNU-SPRING（または YNU-BOOST）、③理工学府特別研究員／特待生制度のすべてに必ず応募すること。

①～③の詳細については上記のとおり。

- ・理工学府特別研究員／特待生制度等の支給金額により、卓越 RA 費の支給金額を減額調整する。
- ・上記の応募義務を履行しなかった者、または採択の通知を受けたのちに辞退（採否の決定が通知される前の辞退を含む）した者については、いずれかの制度の支給開始月のうち、もっとも早い月以降は卓越 RA 費の支給対象外とする。

9. プログラム履修手続等

2026 年 4 月からのプログラム履修手続に関しては、本プログラム事務局より進入／編入手続完了者へ連絡する。

10. その他

- ・出願書類、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、進入／編入選抜験の結果を無効とすることがある。なお、その場合も出願書類・資料等の返還は行わない。
- ・提出された出願書類の変更は認めない。また、出願書類の返還は行わない。
- ・出願時に収集した個人情報は試験実施、結果発表、履修手続およびこれらの付随業務のために 13 連携大学で共有する。加えて文部科学省ならびに関係機関への報告等に使用する。その際、当該個人情報の漏洩、流出、不正使用等がないよう、必要かつ適切な管理を行う。また上記業務を委託する場合は、委託先に対し契約等により必要かつ適切な管理を義務付ける。
- ・本プログラム進入／編入による、所属する大学の研究科、専攻および研究指導の変更は生じない。
- ・本プログラム採択大学は、文部科学省へのプログラム修了者の追跡調査報告ならびに、文部科学省科学技術・学術政策研究所が運用する「博士人材データベース（JGRAD）」を活用した修了者の状況把握に協力することとなっている。本プログラム進入／編入者は、修了後これら調査等に協力することが求められる。
- ・5 年一貫制教育プログラムである本プログラムに進入／編入した場合においても、理工学府博士課程前期の修了および博士課程後期への入学を保証するものではない。博士課程後期に進学する際は、別途対象専攻の大学院入試を受験し、合格しなければならない。

11. 問合せ先

横浜国立大学理工学系教務課理工学府係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL : 045-339-3817

E-mail : ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp